

憲法9条・平和をまもる心

くらし、民主主義にも生かして

9月議会はじまる

5日開会された議会で、報告3件を含み平成19年度の各会計の決算など28案件が上程されました。議案説明等がされた全員協議会が午後3時近くまでかかり、その後の本会議は6時50分ごろに散会となりました。質問・討論したから長くなったかのような声の一部でありましたが、議会は言論の府です。議案説明の全協を本会議とは別の日に設定することこそ重要では。

一般質問 答弁時間を含めた 1時間の制限は不当

本会議前の全員協議会で西澤議員は、一般質問の時間制限について藤堂議長に次のように要請しました。

議長が時間制限の根拠としている議会規則56条には「必要があると認めるときは」と定めてあり、3月議会も6月議会もたくさんの質問で議会運営が困難になった状況ではない。無制限に質問させよと言っているのではない。議会規則で再質問、再々質問となっているので、おのずと終わる時間が決まってくる。言論の府にふさわしいルール作りが必要。制限するならば、質問の配分が可能となり、かなりの質問時間が保証される。

西澤議員の要請に対して藤堂議長は、9日の議運で合理的なルールを検討したい、と応じました。

甲良民報

2008年9月7日 394号
発行責任：日本共産党甲良町支部
甲良町在土463 Tel.Fax38-4949
町議会議員：西澤伸明

(2面に続く)

傍聴にごうぞ

西澤議員の一般質問通告の主な要旨を紹介します。

一般質問は 19日の見込み

19日は9時開会で、付託案件の委員長報告、討論採決などの後、一般質問が北川豊明議員、藤堂一彦議員、西澤伸明議員の順で行われる予定です。詳しくは議会事務局まで。
38 5060

日本国憲法擁護の町長姿勢について高く評価し、憲法改悪・戦争できる国への策動に反対することが大切。テロ特措法の再延長・米軍への給油輸出に反対の態度表明を。放置土地の整理を今頃「誤り」を言い、初歩的な土地管理のズサンさを表している。造成・分譲事業における土地の管理台帳に相当するものを提出すべき。農業の現状と再生課題
1、農業従事者のうち65歳以上の方の占める割合。農業従事者の将来展望をどのように描いているか。
2、農業の閉塞状況、自給率39%に落ち込んだ原因

- 1、ふるさと交流村計画
開発申請前の土剥ぎ取り工事は脱法行為ではないのか。
- 2、コンビニストアの位置づけは？「誘致」の見通しは？人寄せ効果、賃料・税収入効果を見込んでの計画ではなかったか？
- 3、経済影響評価はどのように実施したか。どこで検討したか。
- 4、「経営にタッチしない」「公設民営方式は農業振興・地域振興に行政が責任を持たないことではないか。
- 5、「特命チーム」の任務と設置した背景は。
- 6、各種補助事業の決定状況と今後の見通しは。甲良町行政が計画・構想も含め、過去にかかわった(実施団体への支援も含めて)直販所・加工所との関係・成果・反省点
- 7、
- 8、

- 9、をどう分析し、町民の最も望む打開策は何と考えるか。
- 10、「ゆずと森を届ける村」高知県馬路村への視察経験をどう生かしているのか。
- 11、農家と非農家の協働を支援。例えば、働く場の拡大と「奉仕」労働の軽減。
- 12、先進地域の「安心安全作物宣言」などの取り組みを学び、仮称「地域農業再生総合推進条例」など町民の論議を経て合意形成し、「条例化」を目標に取り組み必要あり。本腰を入れた「地域再生総合プラン」作りが欠かせない。
- 13、ふるさと交流村計画
開発申請前の土剥ぎ取り工事は脱法行為ではないのか。
- 14、コンビニストアの位置づけは？「誘致」の見通しは？人寄せ効果、賃料・税収入効果を見込んでの計画ではなかったか？
- 15、経済影響評価はどのように実施したか。どこで検討したか。
- 16、「経営にタッチしない」「公設民営方式は農業振興・地域振興に行政が責任を持たないことではないか。
- 17、「特命チーム」の任務と設置した背景は。
- 18、各種補助事業の決定状況と今後の見通しは。甲良町行政が計画・構想も含め、過去にかかわった(実施団体への支援も含めて)直販所・加工所との関係・成果・反省点
- 19、
- 20、
- 21、
- 22、
- 23、
- 24、
- 25、
- 26、
- 27、
- 28、
- 29、
- 30、
- 31、
- 32、
- 33、
- 34、
- 35、
- 36、
- 37、
- 38、
- 39、
- 40、
- 41、
- 42、
- 43、
- 44、
- 45、
- 46、
- 47、
- 48、
- 49、
- 50、
- 51、
- 52、
- 53、
- 54、
- 55、
- 56、
- 57、
- 58、
- 59、
- 60、
- 61、
- 62、
- 63、
- 64、
- 65、
- 66、
- 67、
- 68、
- 69、
- 70、
- 71、
- 72、
- 73、
- 74、
- 75、
- 76、
- 77、
- 78、
- 79、
- 80、
- 81、
- 82、
- 83、
- 84、
- 85、
- 86、
- 87、
- 88、
- 89、
- 90、
- 91、
- 92、
- 93、
- 94、
- 95、
- 96、
- 97、
- 98、
- 99、
- 100、

住民アンケート 第9次中間集計

拠点施設の建設について

1 建設を先行すべき	30
2 建設は先行すべきでない	409
3 どちらとも言えない	54
無記入	18
合計	511通(9月5日現在)

この声を無視して進めていいのですか



助を出し、クリーンな町イメージをつけていけば、次世代にも胸をはってバトンタッチしていけると思いますが、絶対な物でない限り箱ものは、いりません。(50代)

時期尚早(50代)

ムダはやめて(60代)

出来ることならムダをなくそう(80代)

あれもこれも作って金はどこにあるのかムダはやめよ(60代)

甲良町住民でこそ住みよい町にして。町が言うからとそんなことはスジがとおらん(地域名あり)

早くも年金生活の年になりました。子どもにも良い村にしてほしい。(70代)

道の駅、こんなことむだ。この金はどこから出る。むだな決めようをやめよう。(40代)

税金のむだ使い、一般の税金が高くなるだけ、やめてください。甲良町に物産品もないのに、町長の意思で計画なんて許すわけにはいきません。(60代)

一般世間の話を聞くと、町民のみんが反対しているのを、なぜそこまでやるのか、許せない。町民の税金のむだ使い。一般には何も知らないうちに町長とある一人の町議員さんが決めつたと聞いていますが、これが本当やったら、町民としては許せません。(50代)

国民年金生活の人間を思い直してほしい。長い間、国民年金をかけて百姓を続けてきたのに、町長だけのを考えてやるなんてやめてください。(70代)

何といつても、赤字のリスクが非常に高い。その次に、商業施設経営には、いくつかの条件が満たされるべきだが、その第1番目はマーチャンダイジング、つまり売るべき商品(購買者にとっては欲しい商品)がどれだけ多くあるかどうかである。このきびしい時代に魅力的な商品が揃えられない経営はとも成功することは考えられない。の条件が満たされてもイ店舗開店に当たっては購買者である地元民に対する充分なPRは欠かせない。それなのに地元民に向けて、ほとんどその努力がなされていない。口次に全体をコ

予算が出るから建物を建てるのではなく、特産物や展覧物等を考えてから問うべきでは。事業費を全部使い切る必要があるのか。出展物に合った予算でいいのでは。建物に関しては大きいものはいらぬ。小さい建物で健康に関する物、本、あまり高くない健康器具等、漢方野菜、薬草で作ったもの、ドライブの途中に寄って健康チェック、献血等、便利屋、パンク、一般等(50代)。

愛東の成功した結果だけを見るのではなく、そのプロセスや現在の取り組みや、努力されている現状を十分勉強すべき。十分な検討もなくコンサルタントやシンクタンクの言葉をそのまま町民へ流すのはどうかと思う。メリット、デメリット(リスク)も十分町民に公開すべき。一方的な情報のみで進め、失敗したとき誰が責任を取るのか?(40代)

赤字経営の危険が高い、町民の負担が大きくなる、これがすごく心配です(50代)

100%甲良町の為という証がない。(20代)

行政先行の立場で町民の意見はない。町民の意見をしっかりと見据えて本当の事を計画していただきたい。(20代)

建物を建てて利益があるのか、もつと違う方法で税金を使った方がいいと思う。広報を見てないのでわからない。(20代)

必要ないから(20代)

ここで何故箱ものを作るうとしていいのか信じられない。そんなお金があるのなら、例えば、生ゴミ処理機をもう無料で全戸配布し、燃えるゴミを減らすとか、ソーラー発電推進の町として国の補助は少ないので町からも補

ーダイネイトする販売のプロが入るのか。でないと、かつてのJAの店舗と同じ道をたどる。八出資する資本金はどうなのか。推進者である町長も当然出資をしてしかるべき。でなければ、結果的に町民だけがそのリスクをかぶることになる。(70代)

交流村建設事の無責任さが見えてくる。「箱もの」はいりません。用地買収では、違法をしてまで押し進める町長は信頼・信用できない。議会で謝罪したとなつては納得しがたい。箱もの建設の構想具体案すら持たないで何を考えているのだ。建設は町民を不幸にする。一部の利害関係者の事業は廃止してください。議会は厳格なチェック機能を果たして下さい。甲良町は財源不足で困っているのではない。(50代)

議会は町長と馴れ合いになつてはだめ。意見すら持たない議員は議会をためにする(50代)

アイムの件も含め、甲良町だけでなく行政主導の施設で成功している事例が少ない。強行に先行されるならば賛成議員全員の資産を失敗時に町に寄贈しますとの念書を作成した上で実施させて下さい。そこまで覚悟がなければ無駄な時間を費やさず、即刻中止してください!!

中途半端な施設計画で本当に真剣に数億円のお金をかけようと考えていること自体常識では考えられない。自分が自己資金でやるなら別だが、公金を何と考えているのか?必ず失敗時の責任の取り方を明確にしたうえで進めて下さい。(50代)

ご意見、ご感想などお待ちしています。

